

知的資産経営報告書2014



NIHON UNIPOLYMER CO.,LTD.
日本ユニポリマー株式会社

目次

代表者挨拶	3
会社概要	4
沿革	5
事業内容	7
経営理念・社是	10
顧客価値創造ストーリー（過去～現在）	11
保有する知的資産	12
保有する物的資産	18
今後の事業展開（顧客価値：将来）とアクションプラン	19

代表者挨拶

当社は1969年創業以来、ポリウレタンを主体とした石油化学の原料および化成品において、お客様のニーズに「川上から川下まで」応える専門商社として、国内において確固たる地位を築き、その後大手化学品メーカーのご支援を得て台湾を中心に、中国他東南アジアにポリウレタン素原料を供給し、発展してまいりました。

しかしながら、長年の経営の綻びが表面化し、同時期にリーマンショックが追い打ちをかけ、当社は苦境に陥り、これを機に、平成21年12月に組織を一変し、再生に向け全力で立ち向かってまいりました。お陰様を持ちまして、皆様方に胸を張ってご報告できる業績を新体制発足後堅持しております。

この成長性と永続性を確実なものにすべく、更なる高いステージを目指し、本コンサルティングを受講しました。本知的資産経営報告書をご高覧いただき、当社をより深くご理解いただければ幸いに存じます。そして、ご意見・ご希望・アドバイス等、何なりとお寄せいただけることを期待申し上げる次第です。今後とも、ご支援・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 高松 重夫

会社概要

商 号 日本ユニポリマー株式会社

本 社 東京都千代田区飯田橋4-9-4（飯田橋ビル1号館）

〒102-0072 TEL.03-3264-2051（代表） FAX.03-3264-5799

大阪営業所 大阪府大阪市西区北堀江1-20-15（長堀佐野ビル）

〒550-0014 TEL.06-6531-6011 FAX.06-6543-0474

<2015年2月1日移転予定>

大阪府大阪市西区靱本町1-8-2（コットンニッセイビル）

〒550-0004 TEL.06-4256-8021 FAX.06-4256-8048

台湾事務所 8F, No.101, Sec 3, Nan-King East Road, 104, Taipei, TAIWAN, R.O.C.

TEL.886-2-7701-7701 FAX.886-2-7701-6565

設 立 昭和44年8月26日

資 本 金 9,500万円

代 表 者 高松 重夫

従 業 員 20名

主 要 株 主 BEST PRAISE INTERNATIONAL CO., LTD.

従業員持株会

取 引 銀 行 りそな銀行九段支店 みずほ銀行飯田橋支店 三菱東京UFJ銀行市ヶ谷支店 三井住友銀行飯田橋支店

所 属 団 体 東京商工会議所 東京工業用ゴム製品卸売商業組合

関 連 会 社 優儷高分子有限公司（台湾）

沿革（昭和）

年月	設立から現在までの出来事
昭和44年 8 月	日本ユニポリマー株式会社を資本金300万円にて設立
昭和44年 9 月	デュポン社製工業用ゴム引布“フェアプレン”の販売開始
昭和44年10月	資本金500万円に増資
昭和45年 9 月	東北大学医学部と“人工心臓”の共同開発開始
昭和48年 5 月	東レ・ダウコーニング・シリコーン株式会社のシリコーン製品販売開始
昭和49年 5 月	資本金1,000万円に増資
昭和53年 4 月	資本金1,500万円に増資
昭和53年 4 月	日本ポリウレタン工業株式会社（現・東ソー株式会社）と業務及び資本提携
昭和53年 9 月	日本エラストラン株式会社（現・日本ミラクトラン株式会社）と代理店契約締結、エラストラン（現・ミラクトラン）の販売開始
昭和54年 2 月	大阪営業所開設
昭和55年 4 月	台湾連絡所を開設
昭和57年 4 月	東京倉庫を設置
昭和58年 9 月	資本金2,500万円に増資
昭和61年11月	香港連絡所を開設
昭和62年 5 月	USA連絡所を開設
昭和63年 1 月	東洋紡績株式会社（現・東洋紡株式会社）と代理店契約締結、ポリエステルエラストマー「ペルプレン」の販売開始

沿革（平成）

年月	設立から現在までの出来事
平成2年4月	三菱化学株式会社の代理店業務開始
平成3年6月	業務拡張のため本社移転
平成4年6月	日本ユニポリマー香港公司設立
平成5年4月	USA連絡所をUSA事務所に昇格
平成9年7月	旭電化工業株式会社（現・株式会社ADEKA）の代理店業務開始
平成13年2月	優麗高分子有限公司（台湾）を設立
平成14年1月	四国営業所を開設
平成14年6月	ウレタンフィルム「ユニグラント」・ホットメルトウレタンフィルム「ユニメルト」発表
平成15年7月	四国営業所を閉鎖し、大阪営業所に統合
平成18年4月	宇部興産株式会社と特約店契約締結
平成19年12月	Lubrizol Advanced Materials Asia Pacific Limited（現・Lubrizol Advanced Materials, Inc.）と医療用ポリウレタンエラストマーの代理店契約締結
平成20年3月	有限責任中間法人エコステージ協会エコステージ1認証（認証番号 EST-338）
平成21年12月	USA事務所閉鎖 資本金9,500万円に増資
平成22年1月	平成21年12月31日星川和夫社長退任 平成22年1月1日より高松重夫が代表取締役社長に就任
平成25年11月	日本ユニポリマー香港公司閉鎖

事業内容

海外事業

大手化学メーカーのご支援を得て、
台湾を中心に、
中国他東南アジアにポリウレタン素原料を
供給しています。

国内事業

ポリウレタンに関するお客様のニーズに
「川上から川下まで」お応えします。
その他、ゴム・プラスチック製品も、
多くのお客様に採用いただいております。

営業品目

■ポリウレタン原料

＜素原料＞

イソシアネート（TDI・MDI）

ポリエーテルポリオール（PPG・PTMG）

ポリエステルポリオール

ポリカーボネートポリオール

ポリカプロラクトンポリオール

＜原料＞

熱可塑性ポリウレタン

熱硬化性ポリウレタン

■ポリウレタン成形品

ポリウレタンフィルム・シート

ポリウレタン・ホース・ベルト

射出成型品

熱硬化ウレタン注型品

■ポリウレタン製品及び特殊プラスチック

～製造仕様～

＜ポリウレタン関連＞

コーティング材

接着剤

シーラント

メディカル用樹脂

発泡ウレタンなど

＜加工＞

樹脂のコンパウンド加工

着色加工など

＜特殊プラスチック＞

ポリエステルエラストマー

ポリアミドエラストマー

ポリスチレンエラストマー

生体適合性樹脂など

■リープコート

リープコート®（工業用ゴム引布）

■タコニック

ガラスクロス入りテフロンシート

ガラスクロス入りシリコンシート

各種テープなど

■ゴム成型品

Oリング

成形ダイヤフラム

パッキン

各種ゴム成型品など

事業内容（営業品目）

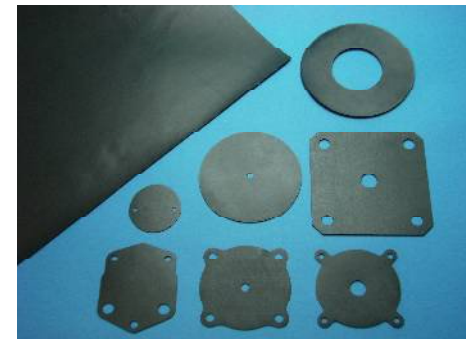
■ ポリウレタン原料



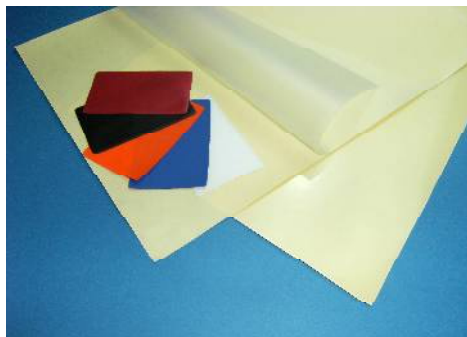
■ ポリウレタン製品及び特殊プラスチック



■ リーブコート



■ ポリウレタン成形品



ウレタンシート



射出成型品

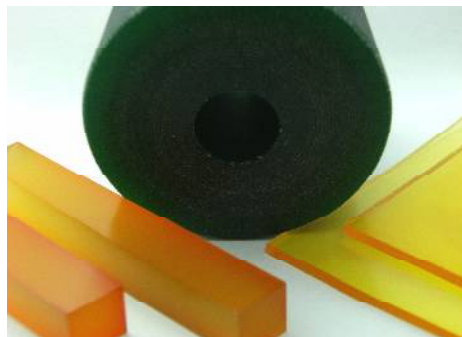
■ タコニック



■ ゴム成型品



ポリウレタンチューブ・ホーズ・ベルト



熱硬化ウレタン注型品

事業内容（ポリウレタンの各種原料とその用途）

原料	用途	用途	最終製品
ビュアMDI	繊維、エラストマー 接着剤、人工・合成皮革	フォーム ・軟質フォーム ・半硬質フォーム ・硬質フォーム ・RIM	寝具、自動車用シート、おむつ 自動車用緩衝剤 屋根、天井、壁、床の断熱下地材、家庭用電気冷蔵庫、合成木材 自動車用部品
ポリメリックMDI	フォーム、接着剤 土木建築材		
TDI	フォーム、エラストマー 塗料・接着剤	エラストマー ・注型品 ・混練品 ・熱可塑品	工業用部品、人工腎臓、ポッティング材、印刷機用ロール 工業用部品、パッキング、ガスケット フィルム、シート、チューブ、ベルト
ポリカーボネートジオール	人工・合成皮革 エラストマー	繊維 ・弾性繊維 ・仕上加工材	ストッキング、スポーツウエア 下着、レインウエア
ポリエステルポリオール	エラストマー、人工・合成皮革 フォーム		
イソシアネート末端プレポリマー	フォーム、エラストマー 人工・合成皮革、土木建築材 塗料・接着剤	人工皮革・合成皮革 ・スエード調製品 ・銀付製品	ファッション衣類、ランドセル 靴、靴、ソファー
ポリウレタン樹脂溶液		土木建築材 ・防水材 ・シーリング材 ・床材 ・グラウト材	屋上防水 コンクリート型枠、地下構造物の防水材 屋上床 土壌安定、トンネル止水材
熱可塑性ポリウレタン	フィルム、シート、チューブ ベルト		
TDI系硬化剤	塗料・接着剤用硬化剤	塗料（一液型・二液型） 接着剤（一液型・二液型）	室内競技場床、建築用、建材用、船舶・車両用 磁気媒体用バインダー、光ファイバーケーブルコーティング材 パーチクルボード・MDF用バインダー ラミネーション用接着剤、建材用接着剤
HDI系硬化剤	塗料・接着剤用硬化剤 （無黄変系）		

経営理念・社是

経営理念

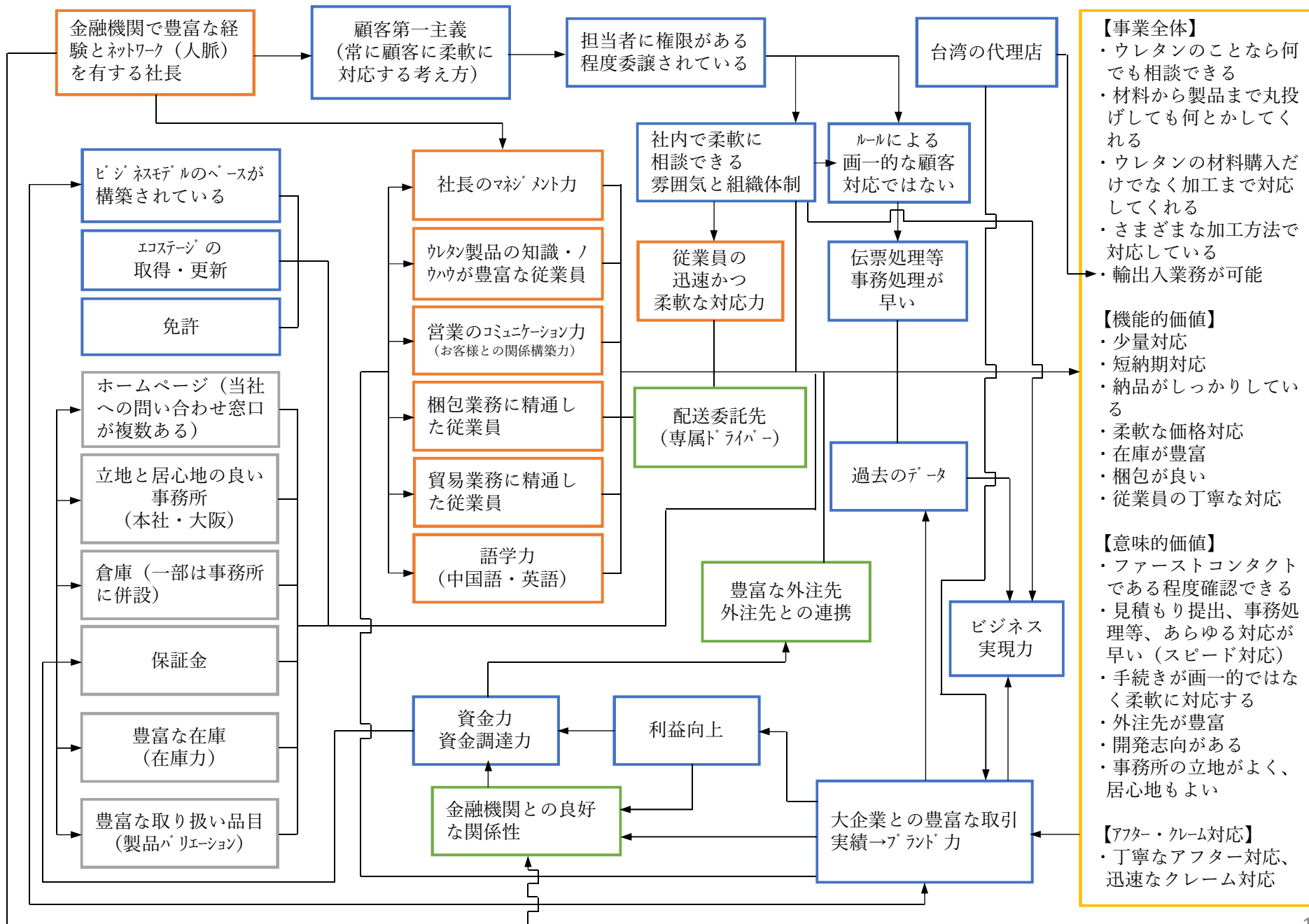
お客様のニーズを的確に捉え、ご満足いただける製品・サービスを迅速に提供することにより社会の発展に貢献します。

コンプライアンス・ガバナンスの向上に努め、環境との調和を図ることにより信用力のある企業を目指します。

社員の幸福と向上を基本として、自己実現に向けた企業風土の醸成に努めます。

社是

- ・ 誠実真摯
- ・ 創意工夫
- ・ 徹底継続



保有する知的資産（人的資産）

■ウレタン製品に関する知識・ノウハウが豊富な従業員

売上のほとんどをウレタン製品で構成している通り、当社はウレタンにほぼ特化したビジネスを展開しています。素原料から加工品まで永きに亘り取り扱っているため、ウレタン製品に関する知識やノウハウが豊富です。お客様から特段のご指定がない場合も、原料調達だけでなく外注加工まで、素材とボリュームを考慮し、過去の経験と実績から最適な対応方法を見出し、コーディネートすることが可能です。

■営業のコミュニケーション力（お客様との関係構築力）／従業員の迅速且つ柔軟な対応力

個々の従業員の人間性によるお客様との関係構築力をベースに、すべての営業担当が常にお客様の「困りごと」を解決するというスタンスでお客様との商談に臨んでいます。小ロットやさまざまな加工方法への対応、納期面における柔軟性等、お客様のニーズに合わせた対応で数多くの評価をいただいております。また、商談のタイミングですべての条件が明確になっていないご相談についても、納期までの限られた時間の中で「歩きながら考える」というスタンスで、お客様とのやりとりの中で修正しながら柔軟に対応するよう心掛けています。



保有する知的資産（人的資産）

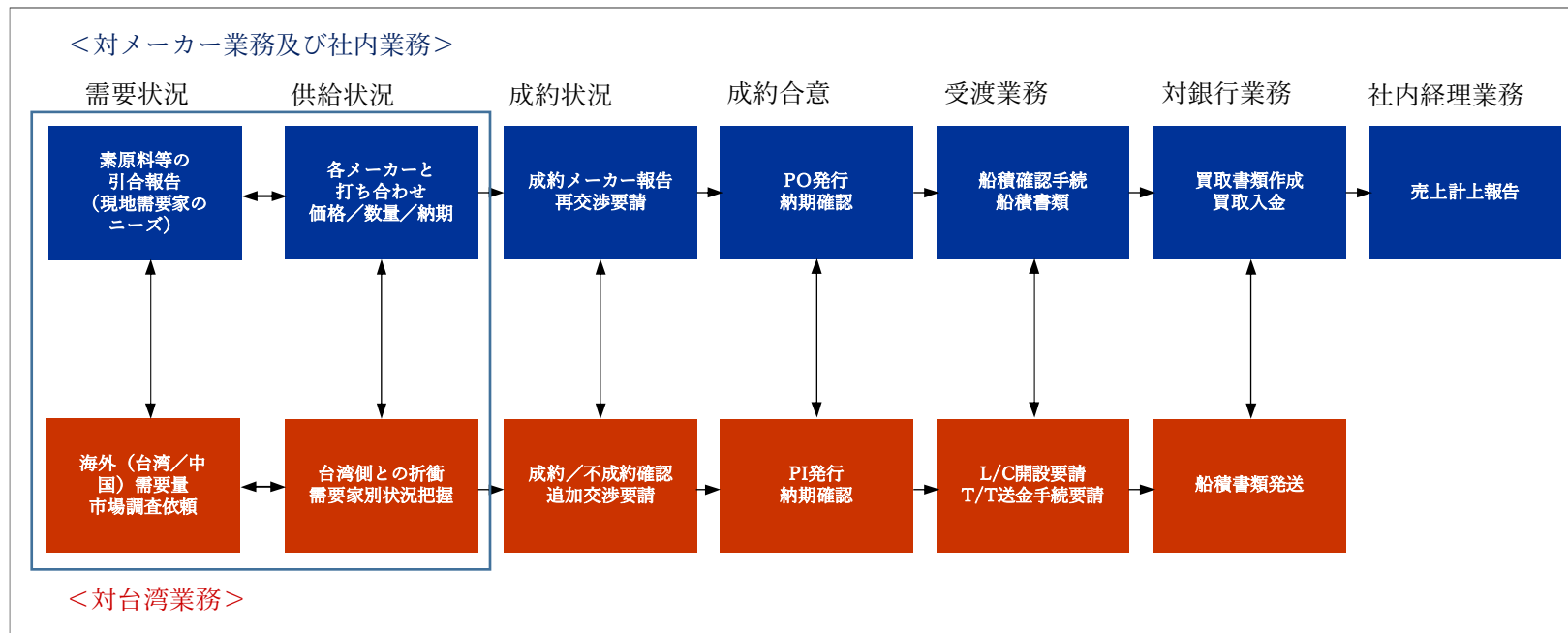
■貿易業務に精通した従業員・語学力（英語＋中国語）

<海外事業>

大手化学メーカーのご支援を得て、台湾を中心に、中国東南アジアにポリウレタン素原料を供給しています。

台湾の代理店であるAchemical Corporationとの業務提携により、上記市場並びに現地需要家様への原料の安定供給に努めています。

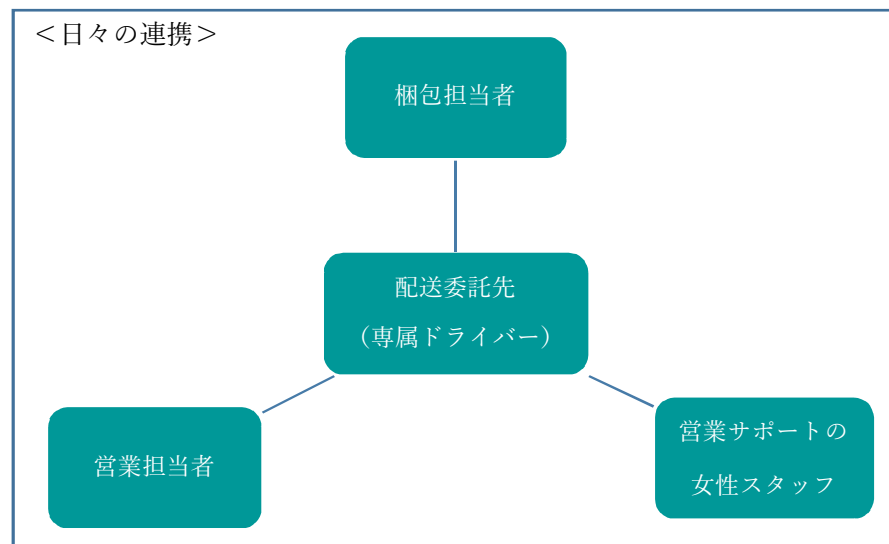
商談実務フローは以下の通りです。



保有する知的資産（人的資産＋関係資産）

■梱包業務に精通した従業員／配送委託先（専属ドライバー）との関係性

以前、当社の配送委託先で勤務していた者が当社の梱包業務を担当しています。当該前職で培った梱包に関する知識、技術、ノウハウ等を有することから梱包業務に精通しており、納品物についてお客様から「梱包がしっかりしてきれい」といった評価をいただいております。また、配送委託先の担当者と当社の従業員との連携がとれていることが円滑で正確な配送業務につながっています。



■社長のマネジメント力＋金融機関で豊富な経験とネットワーク（人脈）／金融機関との良好な関係性

現社長は金融機関において支店マネジメントの経験を有しております。財務の観点はもちろんのこと、当該金融機関において培った企業を支援することにおけるさまざまな経験則と金融機関内外の各方面における豊富なネットワーク（人脈）が現在の経営に活かされています。また、大企業との豊富な取引実績（ブランド力）を背景として、社長が金融機関で豊富な経験とネットワーク（人脈）を有することと相まって、金融機関との関係性は良好です。このことは当社への与信及び当社の資金調達力につながっています。

保有する知的資産（組織資産）

■顧客第一主義→ビジネス実現力

当社の従業員には、「お客様のニーズを汲み取り、常にお客様に柔軟に対応する」といった考え方が備わっています。これは当社の社風でもあり、社内で柔軟に相談できる雰囲気の醸成と組織体制の構築につながっています。この考え方から現場での柔軟な対応を可能にするために担当者には権限がある程度委譲されており、ルールによる画一的なお客様対応ではなく、お客様の細かなご要望にも的確且つ迅速に対応することが可能となっています。



■社内で柔軟に相談できる雰囲気と組織体制

定期的な社内ミーティングにおいて、仕入先情報、ユーザー情報等の共有を図るとともに、トラブル事例の共有と対応に向けたアクションについて互いにアドバイスするといった仕組みがあります。これにより、営業担当者が一人で課題を抱えることなく組織全体で共有し、最適な対応方法に関する情報を得ることができます。また、日常的にもお客様からの問い合わせ内容について気軽に相談し合える雰囲気があります。



■大企業との豊富な取引実績→ブランド力

各大手企業との長年の実績が対外的な信用につながっています。大企業との豊富な取引は、昭和44年8月の設立以来時間をかけて構築してきたビジネスモデルがベースになっています。そしてこれまでの実績において培われた経験とノウハウはデータとして蓄積され、当社の組織的なビジネス実現力につながり、それがまた豊富な取引実績につながるという好循環を生み出しています。

保有する知的資産（組織資産）

■台湾の代理店

台湾の代理店であるAchemical Corporationは台湾及び周辺各国に多くの顧客を有しており、日本の化学品メーカーから厚い信頼を受けています。

Achemical Corporationは設立当初から当社のパートナーとして親密かつ継続的な取引関係にあります。



■エコステージの取得・更新

エコステージとは、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の意図を踏まえつつ、現状の経営システムを基盤として、そこに「環境」という視点を導入することで「経営とリンクした環境マネジメントシステム」へ進化させようとする新しい環境経営評価・支援システムのことです。このような環境活動等への取り組みが当社の対外的な信用につながっています。



保有する知的資産（関係資産）

■豊富な外注先との連携

性格の異なる外注先各社との協力関係が、各種製品への対応力につながっています。下記は対応可能な加工方法です。

加工方法	解説	加工方法	解説
押出成形加工	断面形状が同一の長尺物を連続的に成形する加工法で、チューブ・ホース・シート・フィルム等の製造に適している。コンパウンドも主としてこの加工法で製造する。	巻蒸加工	ゴム製品を蒸気で加硫する加工法。小ロット製品に適する。
射出成型加工	樹脂を加熱溶融し、それを加圧して閉じた金型内に注入し冷却、固化させたものを金型を開いて取出す加工法	凍結粉碎加工	液化窒素により脆化させた樹脂を機械的に粉碎する加工法
カレンダー成形加工	樹脂を一定の厚さに連続して圧延し、フィルムまたはシート状に成形したり、布や紙の面に被覆する加工法	ドライブレンド加工	異なる複数の樹脂もしくは樹脂と添加剤・マスターバッチなどをタンブラーやヘンシェルミキサーによりブレンドする加工
高周波ウェルダー成形加工	高周波誘電加熱を利用した溶着加工法で、ウレタンフィルムを袋状にする時などに一般的に用いる加工法	注型加工	液状の原料を型に流し込み、硬化させて製品を作る加工法
真空成型加工	板状の樹脂に熱をかけることで軟化させ、それを凸または凹型に押さえつけて樹脂と型の間の空気を下から吸うことで真空に近い状態を作り出し、型に樹脂を密着させて目的の形状を作り出す加工法	遠心成形加工	回転する円筒状型内面上に樹脂溶液を供給して成形する加工法。エンドレスベルトなどの成形に適している。
スリット加工	ロール状の材料を希望の幅に切断し巻取る加工法	コーティング加工	浸漬、吹付などの手法により物体の表面を塗料もしくは樹脂皮膜で被覆する加工
打ち抜き加工	抜型と面板間に被加工材を挟み、加圧することで任意形状を打抜く加工法	粘着加工	フィルム素材の表面に粘着剤を塗工する加工
コンプレッション成形加工	適温にした金型にゴム材料を仕込んで金型を閉じ、圧力をかけて架橋させる加工法	ラミネート加工	押出、湿式、乾式、ホットメルト、フレイムラミ等の加工法によりフィルム同士もしくは各種素材とフィルムの貼り合わせを行う。



保有する物的資産

■立地と居心地の良い事務所（本社・大阪）

当社の事務所は駅から近く好立地です。そのためお客様のアクセスが良くなっています。本社のエントランスには熱帯魚・生け花・観葉植物があり、エントランス、応接室、営業室すべてにクラシック音楽を流しています。そのため、居心地がよく、お客様が打ち合わせ等で気軽に立ち寄れる環境が整っています。

<アクセス>

- ・本社
→JR飯田橋駅から徒歩3分
- ・大阪営業所（現在）
→地下鉄四つ橋線四ツ橋駅から徒歩5分
- ・大阪営業所（移転後）
→地下鉄四つ橋線本町駅から徒歩5分



本社（エントランス）



本社



大阪営業所
(2015年1月31日まで)



大阪営業所
(2015年2月1日から)

■倉庫（豊富な取り扱い品目と在庫力）

下記の品目について常時豊富な在庫を保有しています。これにより、お客様からの発注に迅速に対応することが可能です。

◆ポリウレタン成形品

ポリウレタンフィルム・シート
ポリウレタン・ホース・ベルト
射出成型品
熱硬化ウレタン注型品

◆リープコート

リープコート®（工業用ゴム引布）

◆タコニック

ガラスクロス入りテフロンシート
ガラスクロス入りシリコンシート
各種テープなど

◆ゴム成型品

Oリング
成形ダイヤフラム
パッキン
各種ゴム成型品など



本社の在庫



ゴム成型品

今後の事業展開（顧客価値：将来）とアクションプラン

海外事業

Achemical Corporationとの連携を一層強化し、仕入先～顧客間のタイムリーな情報提供と製品紹介を行い拡販に繋げる。

<上記実現のための取組>

基本はヒト対ヒトであることから、仕入先及び顧客とのコミュニケーションを一層強化する。

国内事業

当社のメディカル関連市場での経験と実績を基に当該市場の更なる深耕を行うとともに、電子部品関連市場・自動車部品関連市場への積極的なアプローチにより拡販に繋げる。

<上記実現のための取組>

顧客及び仕入先（原料メーカーや外注加工メーカー）とのコミュニケーションを一層強化することにより、顧客ニーズの把握と対応の迅速化を図るとともに、情報提供などを行うことにより顧客の満足度を向上させる。